

2022年10月17日

各位



兵庫県神戸市で全館冷凍冷蔵物流施設「(仮称) 六甲プロジェクト」が始動 藤原運輸が一棟利用

JA三井リース建物株式会社は、兵庫県神戸市で全館冷凍冷蔵物流施設「(仮称) 六甲プロジェクト」の開発に着手いたしました。

本施設は、汎用性のある冷凍冷蔵物流施設として建物・設備や仕様の企画等につき、日本 GLP 株式会社（本社所在地：東京都港区、代表取締役社長：帖佐 義之、以下「日本 GLP」）のサポートを受けて開発いたします。

竣工後には日本 GLP にて取得、藤原運輸株式会社（本社所在地：大阪市西区、代表取締役社長：藤原 輝之、以下「藤原運輸」）が一棟全体を利用する予定です。

2022年10月着工、2024年3月に竣工を予定しています。



「(仮称) 六甲プロジェクト」完成イメージ

冷凍食品業界は物量が伸長しており、2012年～2021年の間で、冷凍食品消費量の年平均成長率は2.2%、家庭用冷凍食品の国内生産金額は46%増加、年平均成長率は4.3%[1]と、堅実で今後も安定した成長が見込めるマーケットです。

当施設は兵庫県神戸市、神戸港を臨む六甲アイランドに位置しています。神戸港は従来アジア諸国や関西・九州地方におけるハブ港として機能しており、現在は国際コンテナ戦略港湾において国際海上コンテナターミナル整備事業が進められています。当施設の立地性から、冷凍冷蔵物流事業にとって汎用性が高く、また保管効率を高めた全館冷凍冷蔵物流施設の建物・設備や仕様とすべく、冷凍冷蔵物流施設の豊富な実績のある日本 GLP にて企画・開発のサポートを受けています。

藤原運輸は国内外の物流や 3PL 事業のほか、「保管+α」として商品の品質維持・管理、温度帯別管理、流通加工、梱包、ピッキングなどの多機能物流拠点を展開しています。今回、冷凍を中心として当施設一棟を利用する予定です。

【当施設の立地】

- ・ 阪神高速 5 号湾岸線「六甲アイランド北 IC」より約 1.1km、阪神高速 3 号神戸線「魚崎 IC」より約 3.4km と、神戸市内への都心配送および、関西・中国地方の中間地点として広域配送が可能な物流拠点。
- ・ 神戸新交通六甲アイランド線「アイランド北口駅」から徒歩圏内で、沿線や周辺には住宅地や大規模商業施設が複数あることから、雇用確保の面でも優れた立地。

【当施設の特長】

- ・ 防熱後の有効天井高約 6.0m を確保、耐荷重は約 2.0t/m²という、保管効率を高めた仕様。
- ・ 自然冷媒を採用

【当施設のサステナビリティについて】

BCP 面では、非常用発電設備を有し、電気設備等を屋上に設置する等の浸水対策を講じ、高い事業継続性を確保しています。

環境への配慮としては、自然冷媒の採用と緑化エリアを確保するほか、全館 LED の整備を予定しており地球・地域・社会環境に配慮した施設を目指し、CASBEE 認証を取得予定です。



「(仮称) 六甲プロジェクト」広域図



「(仮称) 六甲プロジェクト」周辺図

■施設概要

施設名：「(仮称) GLP 六甲プロジェクト」
 所在地：兵庫県神戸市東灘区向洋町東 3 丁目 6-2
 敷地面積：約 5,000 m²
 延床面積：約 10,100 m²
 構造：地上 4 階建て、耐震鉄骨鉄筋コンクリート造
 着工：2022 年 10 月 1 日
 竣工：2024 年 3 月（予定）
 認証取得：CASBEE 認証（予定）

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

JA 三井リース建物株式会社 営業第二部 03-6775-3075

[1] 出典：一般社団法人日本冷凍食品協会 令和3年冷凍食品の生産・消費について